

DERWENT-ACC-NO: 2000-047710
DERWENT-WEEK: 200004
COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Rear fender support structure for industrial vehicle e.g.
tractor, lawn
mower

PATENT-ASSIGNEE: KUBOTA CORP[KUBI]

PRIORITY-DATA: 1998JP-0118221 (April 28, 1998)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 11310159 A	November 9, 1999	N/A
B62D 025/16		000

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 11310159A	N/A	1998JP-0118221
April 28, 1998		

INT-CL_(IPC): B62D025/16

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11310159A

BASIC-ABSTRACT: NOVELTY - Non-protruding portions (11A) of the support frames (11) extended from the transmission case (2) and towards a through hole (a) formed to the rear fender is coupled with the rear fender (8). A lamp (L) is attached to the end of each non-protruding portion that extends outside of the rear fender through hole.

USE - For industrial vehicle e.g. tractor, lawn mower.

ADVANTAGE - Prevents deformation of the rear fender so as not to serve as an obstacle in the assembly of the operation lever and to improve external appearance.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a rear view of the tractor showing the rear fender support structure.

Transmission case 2

Rear fender 8

Support frames 11

Non-protruding portions 11A

Lamp L

Through hole a

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/12

TITLE-TERMS:

REAR FENDER SUPPORT STRUCTURE INDUSTRIAL VEHICLE TRACTOR LAWN MOW

DERWENT-CLASS: Q22

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2000-037205

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-310159

(43) 公開日 平成11年(1999)11月9日

(51) Int.Cl.⁶

B 6 2 D 25/16

識別記号

F I

B 6 2 D 25/16

J

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平10-118221

(22) 出願日 平成10年(1998)4月28日

(71) 出願人 00001052

株式会社クボタ

大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号

(72) 発明者 吉井 伸幸

大阪府堺市石津北町64番地 株式会社クボタ堺製造所内

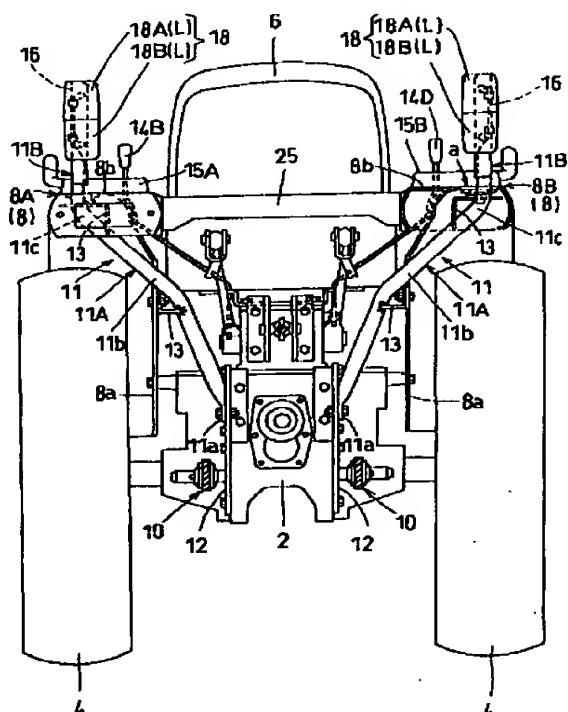
(74) 代理人 弁理士 北村 修一郎

(54) 【発明の名称】 作業車の後部フェンダ支持構造

(57) 【要約】

【課題】 操作レバーの組付けに支障を来す、あるいは、外観が悪くなる、などの不都合を招く虞のある後部フェンダの変形を防止するとともに、そのための支持構造を安価に構成できるようにする。

【解決手段】 作業車の後部フェンダ支持構造において、ミッションケース2から立ち上げた支持フレーム11を後部フェンダ8に形成した貫通孔aから上方に突出させてランプLを取り付けるとともに、支持フレーム11のミッションケース2から貫通孔aに亘る非突出部11Aを後部フェンダ8に連結した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ミッションケースから立ち上げた支持フレームを後部フェンダに形成した貫通孔から上方に突出させてランプを取り付けるとともに、前記支持フレームの前記ミッションケースから前記貫通孔に亘る非突出部を前記後部フェンダに連結してある作業車の後部フェンダ支持構造。

【請求項2】 前記支持フレームを、該支持フレームと同様に前記貫通孔から上方に突出するように前記ミッションケースから立ち上げられる転倒保護フレーム取り付け用の取付フレームに付け替え自在に構成してある請求項1記載の作業車の後部フェンダ支持構造。

【請求項3】 前記支持フレームの突出部に、前向きランプ取付部と後向きランプ取付部を装備してある請求項1又は2記載の作業車の後部フェンダ支持構造。

【請求項4】 前記貫通孔を後部フェンダの左右外側端部に形成してある請求項1～3のいずれか一つに記載の作業車の後部フェンダ支持構造。

【請求項5】 前記支持フレームをパイプ材で構成してある請求項1～4のいずれか一つに記載の作業車の後部

フェンダ支持構造。

【請求項6】 前記非突出部の上部箇所を連結部材を介して前記後部フェンダに連結するとともに、前記連結部材で前記貫通孔を閉塞するようにしてある請求項1～5のいずれか一つに記載の作業車の後部フェンダ支持構造。

【請求項7】 前記支持フレームに、前記ランプを高さ調節自在又は傾倒自在に取り付けてある請求項1～6のいずれか一つに記載の作業車の後部フェンダ支持構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、トラクタや芝刈機などの作業車における後部フェンダの支持構造に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、トラクタや芝刈機などの作業車においては、例えば、特開平7-323798号公報や特開平7-329663号公報などで開示されているように、後部フェンダの下端部をミッションケースに連結することによって、後部フェンダの支持を行うようにしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記の従来技術によると、後部フェンダの下端部のみを支持するようにしていることから、組付け後に、後部フェンダの上部側ほど左右方向に変位する変形が生じ易くなっており、これによって、ミッションケースの側方箇所から後部フェンダの内側面に沿って上方に延出されるようになる操作レバーの組付けに支障を来す、あるいは、外観が悪くなる、などの不都合を招く虞があった。

【0004】本発明の目的は、操作レバーの組付けに支障を来す、あるいは、外観が悪くなる、などの不都合を招く虞のある後部フェンダの変形を防止するとともに、そのための支持構造を安価に構成できるようにすることにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明のうちの請求項1記載の発明では、作業車の後部フェンダ支持構造において、ミッションケースから立ち上げた支持フレームを後部フェンダに形成した貫通孔から上方に突出させてランプを取り付けるとともに、前記支持フレームの前記ミッションケースから前記貫通孔に亘る非突出部を前記後部フェンダに連結した。

【0006】〔作用〕上記請求項1記載の発明によると、ミッションケースから立ち上げた支持フレームの非突出部に後部フェンダを連結していることから、後部フェンダの上部側ほど生じ易くなっていた後部フェンダの左右方向への変形を防止できるようになる。又、この支持フレームをランプ取付用の取付フレームに兼用していることから、後部フェンダの支持フレームとランプ取付用の取付フレームとをそれぞれ装備する場合に比較して安価に構成できるようになる。

【0007】〔効果〕従って、ミッションケースの側方箇所から後部フェンダの内側面に沿って上方に延出されるようになる操作レバーの組付けに支障を来す、あるいは、外観が悪くなる、などの不都合を招く虞のある後部フェンダの変形を防止できる上に、そのための支持構造を安価に構成できるようになった。

【0008】本発明のうちの請求項2記載の発明では、上記請求項1記載の発明において、前記支持フレームを、該支持フレームと同様に前記貫通孔から上方に突出するように前記ミッションケースから立ち上げられる転倒保護フレーム取り付け用の取付フレームに付け替え自在に構成した。

【0009】〔作用〕上記請求項2記載の発明によると、支持フレームを、転倒保護フレーム（所謂ROPS）を支持する上において高い強度を要する取付フレームに付け替えるだけで簡単に転倒保護フレーム装着仕様に仕様変更することができるとともに、この取付フレームを支持フレームと同様にミッションケースから立ち上げて後部フェンダの貫通孔から上方に突出させるようにしていることから、後部フェンダにおける支持フレームとの連結箇所を有効利用しながら、取付フレームにおけるミッションケースから貫通孔に亘る非突出部に後部フェンダを支持させることができるようになる。つまり、転倒保護フレーム装着仕様に簡単に仕様変更できるようにしながらも、その転倒保護フレーム装着仕様においても後部フェンダにおける上部側の変形を安価な構成で防止できるようになる。

【0010】〔効果〕従って、支持フレームを取付フレ

ームに付け替えるだけの安価な構造変更で、転倒保護フレーム装着仕様への仕様変更を簡単に行えるようにしながらも、その仕様変更にかかわらず、後部フェンダの内側面に沿って上方に延出される操作レバーの組付けに支障を来す、あるいは、外観が悪くなる、などの不都合を招く虞のある後部フェンダの変形を防止できるようになった。

【0011】本発明のうちの請求項3記載の発明では、上記請求項1又は2記載の発明において、前記支持フレームの突出部に、前向きランプ取付部と後向きランプ取付部を装備した。

【0012】〔作用〕上記請求項3記載の発明によると、支持フレームの突出部に前向きランプ取付部と後向きランプ取付部を装備していることによって、前向きランプ取付用と後向きランプ取付用のそれぞれ専用の取付フレームを設けなくても、前向きランプと後向きランプを取り付けられるようになる。又、後部フェンダの変形防止は、それほど大きな補強を要するものでもないことから、前向きランプ取付用と後向きランプ取付用の一対の取付フレームを設けなくても、前向きランプ取付部と後向きランプ取付部とを装備した兼用構造の支持フレームでも十分な効果を得られるようになる。つまり、後部フェンダの変形を防止するものでありながら、前向きランプ取付用と後向きランプ取付用とに兼用できる支持構造にすることができるようになる。

【0013】ちなみに、前向きランプとしては、方向指示灯、車幅灯、あるいは駐車灯などがあり、後向きランプとしては、方向指示灯、車幅灯、制動灯、駐車灯、あるいは後退灯、などがある。

【0014】〔効果〕従って、後部フェンダの変形を防止するための支持構造を、前向きランプ取付用と後向きランプ取付用とに兼用していることによって、より安価に構成することができるようになった。

【0015】本発明のうちの請求項4記載の発明では、上記請求項1～3のいずれか一つに記載の発明において、前記貫通孔を後部フェンダの左右外側端部に形成した。

【0016】〔作用〕上記請求項4記載の発明によると、貫通孔を後部フェンダの左右外側端部に形成していることによって、貫通孔から突出する支持フレームも後部フェンダの左右外側端部に位置するようになることから、支持フレームと後部フェンダの左右両側部との連結が行い易くなるとともに、その連結によって、後部フェンダの上部側ほど生じ易くなっていた後部フェンダの変形をより効果的に防止できるようになる。その上、ランプ取付部となる支持フレームの突出部を、夜間に前方又は後方に対して車幅を示す必要のある車幅灯や駐車灯を装備する上において好適となる機体の左右両端部に位置させることができるようになる。

【0017】〔効果〕従って、後部フェンダの変形をよ

り効果的に防止できる上に、そのための支持構造を、ランプ取付部材として好適な機能を発揮させることができるようになった。

【0018】本発明のうちの請求項5記載の発明では、上記請求項1～4のいずれか一つに記載の発明において、前記支持フレームをパイプ材で構成した。

【0019】〔作用〕上記請求項5記載の発明によると、支持フレームをパイプ材で構成していることから、後部フェンダの変形を防止するための支持構造としての十分な強度を確保しながらも、棒材で構成する場合に比較して軽量化を図れるようになる。

【0020】〔効果〕従って、後部フェンダの変形を防止するための支持構造の軽量化を図れるようになった。

【0021】本発明のうちの請求項6記載の発明では、上記請求項1～5のいずれか一つに記載の発明において、前記非突出部の上部箇所を連結部材を介して前記後部フェンダに連結するとともに、前記連結部材で前記貫通孔を閉塞するようにした。

【0022】〔作用〕上記請求項6記載の発明によると、支持フレームにおける非突出部の上部箇所を、変形し易くなっていた後部フェンダの上部箇所に連結するようにことから、後部フェンダの変形をより効果的に防止することができるようになる。又、連結部材を利用して貫通孔を閉塞することによって、貫通孔を閉塞するための専用部材（例えばゴム製のキャップなど）を新たに設ける必要がないことから、支持フレームを後部フェンダの貫通孔から突出させて後部フェンダの変形防止用とランプ取付用とに兼用するものでありながらも、コスト高を招くことなく後輪で跳ね上げられた泥土が貫通孔から飛散することを防止できるようになる。

【0023】〔効果〕従って、後部フェンダの変形をより効果的に防止できる上に、そのための安価な支持構造を、後部フェンダの一部としての機能をも発揮させることができるようになった。

【0024】本発明のうちの請求項7記載の発明では、上記請求項1～6のいずれか一つに記載の発明において、前記支持フレームに、前記ランプを高さ調節自在又は傾倒自在に取り付けた。

【0025】〔作用〕上記請求項7記載の発明によると、支持フレームにランプを高さ調節自在又は傾倒自在に取り付けることによって、路上走行時にはランプによる表示を認識させる高さ位置又は姿勢としながらも、作業地（特に果樹園など）での作業走行時には、ランプを低くする又は傾倒させることによって樹木などの他物との接触を防止できるようになる。特に、ランプを高さ調節自在に取り付ける場合には、走行場所や走行状態によって、ランプを、その表示を認識させ易い好適な高さ位置に位置させることができるようになる。

【0026】〔効果〕従って、ランプの他物との接触による破損を防止できるとともに、ランプ表示の認識性を

高めることも可能になった。

【0027】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。

【0028】図1には作業車の一例であるトラクタの全体側面が示されており、このトラクタは、前部に搭載されたエンジン1、エンジン1に伝動連結された状態で後部に配備されたミッションケース2、ミッションケース2を経由した変速後の動力により駆動可能な左右一対の前輪3、ミッションケース2を経由した変速後の動力により駆動される左右一対の後輪4、操向作用のステアリングホイール5、左右の後輪4の間に配設された運転座席6、前輪3と後輪4の間に配設された搭乗ステップ7、及び、搭乗ステップ7の後部から左右の後輪4の上方を覆うように延設された後部フェンダ8、などを備えた走行機体9の後部に作業装置連結用のリンク機構10を昇降自在に装着することによって構成されている。

【0029】図2～7に示すように、後部フェンダ8は、後輪4の内側部に近接する状態となるように下端がミッションケース2に連結された立上壁8aと、後輪4の前方から上方を覆う上面部8bとを有するように形成された左右のフェンダ部8A、8Bによって構成されており、各上面部8bの外側端部（つまり後部フェンダ8の左右外側端部）Aの後部箇所には、それぞれ、平面視四角形状の貫通孔aが形成されている。各貫通孔aには、ミッションケース2の左右後端部からそれぞれ立ち上げられた支持フレーム11が挿通されるようになっている。左右の支持フレーム11は、ミッションケース2の左右後端部から後部フェンダ8の貫通孔aに向けて屈曲形成された丸パイプ鋼材からなり、そのミッションケース2から貫通孔aに亘る非突出部11Aにおける下端箇所11aが連結プレート12を介してミッションケース2にボルト連結されるとともに、非突出部11Aの上下中間箇所11bが対応するフェンダ部8A、8Bの立上壁8aに、又、非突出部11Aの上部箇所11cが対応するフェンダ部8A、8Bの上面部8bに、それぞれL字形鋼材からなる連結部材13を介してボルト連結されている。

【0030】つまり、ミッションケース2から立ち上げた左右の支持フレーム11の非突出部11Aにおける上下中間箇所11bと上部箇所11cを、左右の各フェンダ部8A、8Bの立上壁8a又は上面部8bに連結することによって、後部フェンダ8の上部側面を支持フレーム11にて支持させるようにしていることから、後部フェンダ8の上部側面ほど生じ易くなっていた後部フェンダ8の左右方向への変形を防止できるようになっており、これによって、その変形に起因した、ミッションケース2の側方箇所から後部フェンダ8の内側面に沿って上方に延出されるようになる各種操作レバー14A～14Eの組付けに支障を来す、あるいは、外観が悪くなる、など

の不都合の発生を回避できるようになっている。尚、各図に示す符号15A、15Bは、左右の各フェンダ部8A、8Bの上面部8bに装着されたガイド部材であり、各ガイド部材15A、15Bには、対応する操作レバー14A～14Eを案内するガイド溝15a～15eが形成されている。

【0031】ちなみに、各種操作レバー14A～14Eのうち、運転座席6の前部左側方に配置された操作レバー14Aは、前進三段の変速操作と前後進の切り換え操作とを行うための主変速レバーであり、運転座席6の後部左側方に配置された操作レバー14Bは、高低二段の変速操作を行うための副変速レバーであり、その副変速レバー14Bの左横側に並設された操作レバー14Cは、動力取出軸（図示せず）の正転二段の変速操作と正逆転の切り換え操作とを行うためのP/T O変速レバーである。一方、運転座席6の右側方に配置された操作レバー14Dは、走行駆動状態の後輪4のみを駆動する二輪駆動状態と前後輪3、4の双方を駆動する四輪駆動状態との切り換え操作を行うための駆動切換レバーであり、その駆動切換レバー14Dの右横側に並設された操作レバー14Eは、機体の後部に昇降リンク機構（図示せず）を介して連結される作業装置（図示せず）の油圧昇降操作を行うための昇降レバーである。

【0032】支持フレーム11の上部箇所11cを左右の各フェンダ部8A、8Bに連結する連結部材13は、各フェンダ部8A、8Bの貫通孔aを下方から閉塞する大きさに形成されており、これによって、貫通孔aを閉塞するためのゴム製のキャップなどの専用部材（図示せず）を新たに設けることなく、後輪4で跳ね上げられた泥土などが貫通孔aから飛散することを防止できるようになっている。

【0033】左右の支持フレーム11において、後部フェンダ8の貫通孔aから上方に突出する突出部11Bには、前向きランプ取付部16Aと後向きランプ取付部16Bとを備えたランプ取付具16がボルト連結されている。各前向きランプ取付部16Aには、夜間走行中に前方に対して車幅を示すランプLとしての車幅灯17Aと、主に前方に対して旋回方向を示すランプLとしての方向指示灯17Bとを備えたフロントコンビネーションランプ17が前向きランプとして取り付けられている。一方、後向きランプ取付部16Bには、主に後方に対して旋回方向を示すランプLとしての方向指示灯18Aと、後方に対して制動減速操作を示すランプLとしての制動灯18Bとを備えたりヤコンビネーションランプ18が後向きランプとして取り付けられている。尚、各方向指示灯17B、18Aは、夜間の一時停止中などにおいて前方及び後方に対して車幅を示すハザードランプに兼用されている。

【0034】つまり、支持フレーム11は、後部フェンダ8の変形を防止するものでありながら、前向きランプ

取付用の取付フレームと後向きランプ取付用の取付フレームとに兼用されるようになっており、もって、それらの取付フレームと支持フレーム11とをそれぞれ装備する場合に比較して、後部フェンダ8の支持構造を安価に構成できるようになっている。又、先述のように、支持フレーム11の突出部11Bを後部フェンダ8の左右外側端部Aに形成した貫通孔aから突出させることによって、その突出部11Bに取り付けられる車幅灯17Aやハザードランプ兼用の各方向指示灯17B、18Aを、夜間に前方又は後方に対して車幅を示す上において好適となる走行機体1の左右両端部に位置させることができるようになっている。

【0035】図5及び図6に示すように、支持フレーム11の突出部11Bにボルト連結されるランプ取付具16の取付孔16aは上下向きの長孔に形成されており、支持フレーム11に対するフロントコンビネーションランプ17とリヤコンビネーションランプ18の高さ位置を調節できるようになっている。これによって、路上走行時には、その走行場所や走行状態によって、フロントコンビネーションランプ17及びリヤコンビネーションランプ18を、それらによる表示を認識させ易い好適な高さ位置に位置させることができるとともに、果樹園などの作業地での作業走行時には、フロントコンビネーションランプ17及びリヤコンビネーションランプ18の高さ位置を低くすることによって樹木などの他物との接触を防止できるようになっている。

【0036】図8～11に示すように、左右の支持フレーム11は、支持フレーム11と同様に後部フェンダ8の貫通孔aから上方に突出するようにミッションケース2から立ち上げられる転倒保護フレーム(所謂ROPS)19取り付け用の角パイプ鋼材からなる取付フレーム20に付け替え自在となっている。左右の取付フレーム20は、そのミッションケース2から貫通孔aに亘る非突出部20Aにおける下端箇所20aがミッションケース2の左右後端部に連結された連結プレート12にボルト連結されるとともに、非突出部20Aの上下中間箇所20bが対応するフェンダ部8A、8Bの立上壁8aに、又、非突出部20Aの上部箇所20cが対応するフェンダ部8A、8Bの上面部8bに、それぞれ鋼板からなる連結部材21を介して、支持フレーム11の場合と同じ箇所にボルト連結されるようになっている。左右の取付フレーム20の突出部20Bは、その後部壁が切り欠かれた平面視コの字状に形成されており、これら左右の突出部20Bに転倒保護フレーム19が後方倒伏揺動可能にピン連結されている。尚、図8～11に示す符号22は、転倒保護フレーム19を起立姿勢で固定保持するためのロック金具である。又、符号23は、左右の取付フレーム20の突出部20Bを前方から外囲する化粧カバーであり、符号24は、その化粧カバー23の外側面に装着された方向指示灯である。

【0037】つまり、左右の支持フレーム11を取付フレーム20に付け替えるだけで簡単に転倒保護フレーム19装着仕様に仕様変更することができるとともに、この転倒保護フレーム19装着仕様においては、左右の取付フレーム20の非突出部20Aにおける上下中間箇所20bと上部箇所20cを左右のフェンダ部8A、8Bの立上壁8a又は上面部8bに連結することができて、後部フェンダ8の上部側を取付フレーム20で支持させることができるようになっており、もって、転倒保護フレーム19装着仕様においても、後部フェンダ8の上部側ほど生じ易くなっていた後部フェンダ8の左右方向への変形を防止することができ、その変形に起因した、ミッションケース2の側方箇所から後部フェンダ8の内側面に沿って上方に延出されるようになる各種操作レバー14A～14Eの組付けに支障を来す、あるいは、外観が悪くなる、などの不都合の発生を回避できるようになっている。

【0038】尚、図2、図4及び図9に示す符号25は、左右のフェンダ部8A、8Bの上部後端同士に亘って架設された化粧板である。

【0039】〔別実施形態〕以下、本発明の別実施形態を列記する。

① 作業車としては芝刈機などであってもよい。

② 支持フレーム11を、支持フレーム11と同様に後部フェンダ8の貫通孔aから上方に突出するようにミッションケース2から立ち上げられるキャノピ取り付け用の取付フレームに付け替え自在に構成してもよい。

③ 支持フレーム11の突出部11Bに、前向きランプ取付部16A又は後向きランプ取付部16Bのみを装備するようにしてもよい。又、支持フレーム11の突出部11Bに取り付けられるランプLとしては種々の変更が可能である。

④ 支持フレーム11としては棒材で構成されたものであってもよい。

⑤ 図12に示すように、支持フレーム11に、ランプLを機体内方側に傾倒自在に取り付けるようにしてもよい。又、支持フレーム11に、ランプLを高さ調節自在かつ機体内方側に傾倒自在に取り付けるようにしてもよい。

⑥ 支持フレーム11と取付フレーム20にそれぞれ専用の連結プレート12を溶接して、支持フレーム11と取付フレーム20とを付け替える際には、連結プレート12ごと付け替えるように構成してもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】トラクタの全体側面図

【図2】支持フレームによる後部フェンダ支持構造を示すトラクタの背面図

【図3】支持フレームによる後部フェンダ支持構造を示すトラクタ後部の縦断側面図

【図4】支持フレームに対するランプ取り付け構造を示

すトラクタ後部の平面図

【図5】支持フレームによる後部フェンダ支持構造と支持フレームに対するランプ取り付け構造を示す要部の縦断側面図

【図6】支持フレームによる後部フェンダ支持構造と支持フレームに対するランプ取り付け構造を示す要部の縦断背面図

【図7】支持フレームによる後部フェンダ支持構造と支持フレームに対するランプ取り付け構造を示す要部の平面図

【図8】取付フレームによる後部フェンダ支持構造を示すトラクタ後部の縦断側面図

【図9】取付フレームによる後部フェンダ支持構造を示すトラクタの背面図

【図10】取付フレームによる後部フェンダ支持構造を示す要部の縦断側面図

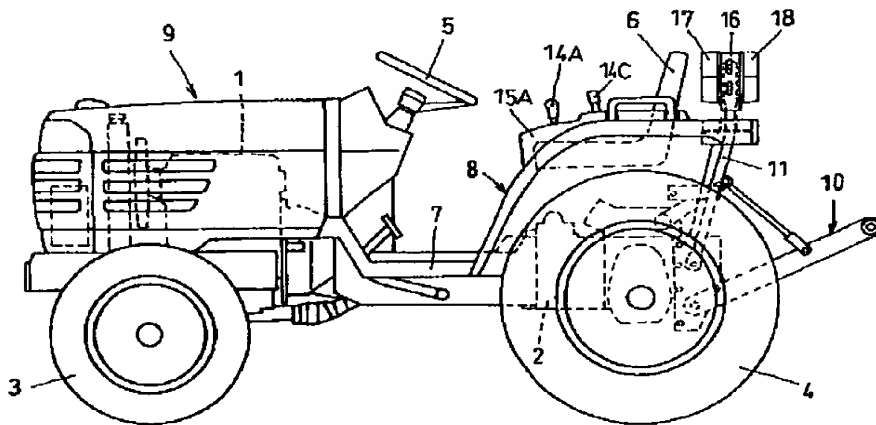
【図11】取付フレームによる後部フェンダ支持構造を示す要部の縦断背面図

【図12】支持フレームにランプを機体内方側に傾倒自在に取り付けた別実施形態を示す要部の縦断背面図

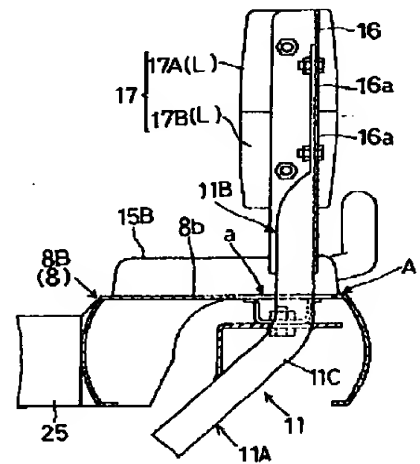
【符号の説明】

- 2 ミッションケース
- 8 後部フェンダ
- 11 支持フレーム
- 11A 非突出部
- 11B 突出部
- 11c 上部箇所
- 10 1.3 連結部材
- 16A 前向きランプ取付部
- 16B 後向きランプ取付部
- 19 転倒保護フレーム
- 20 取付フレーム
- A 左右外側端部
- L ランプ
- a 貫通孔

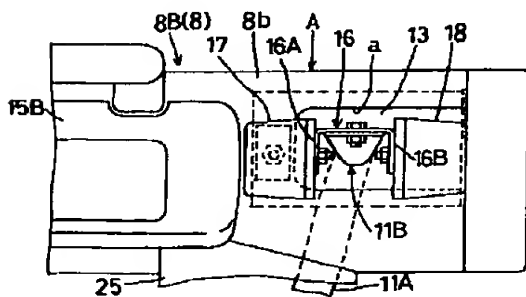
【図1】



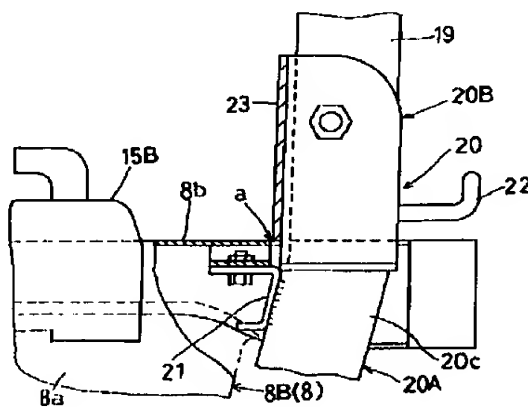
【図6】



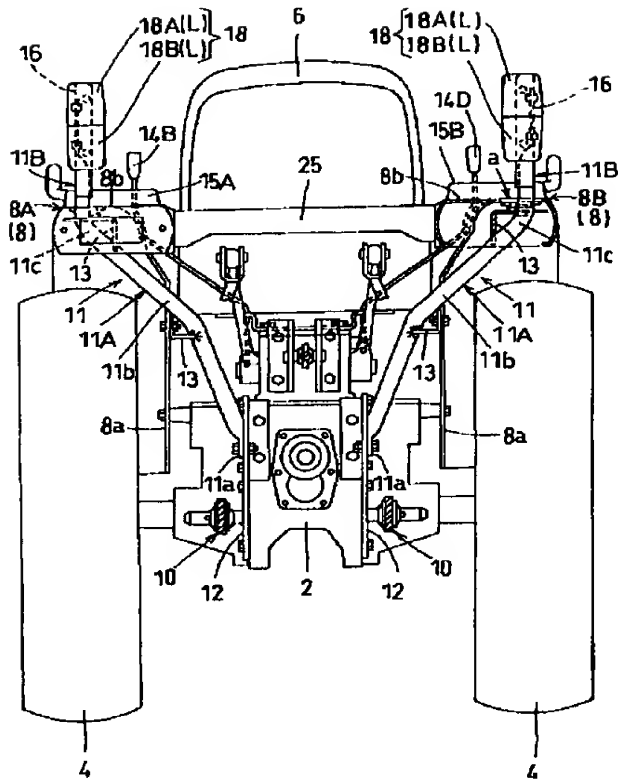
【図7】



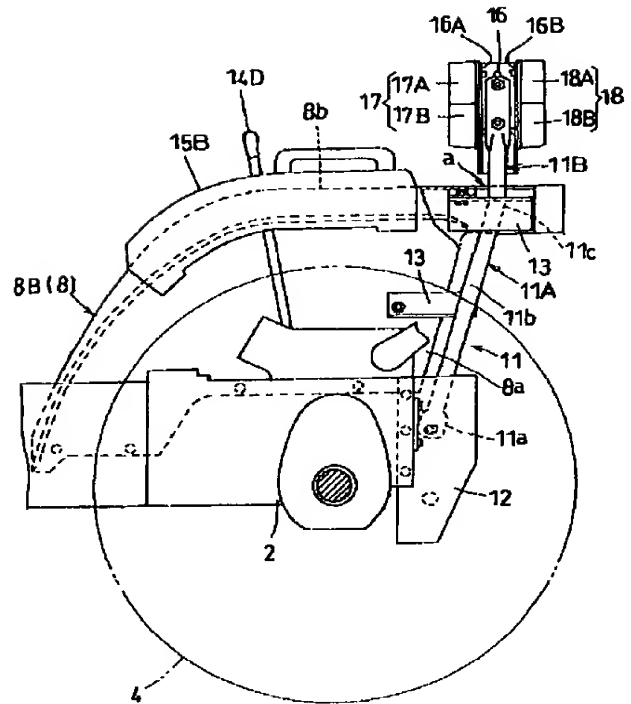
【図10】



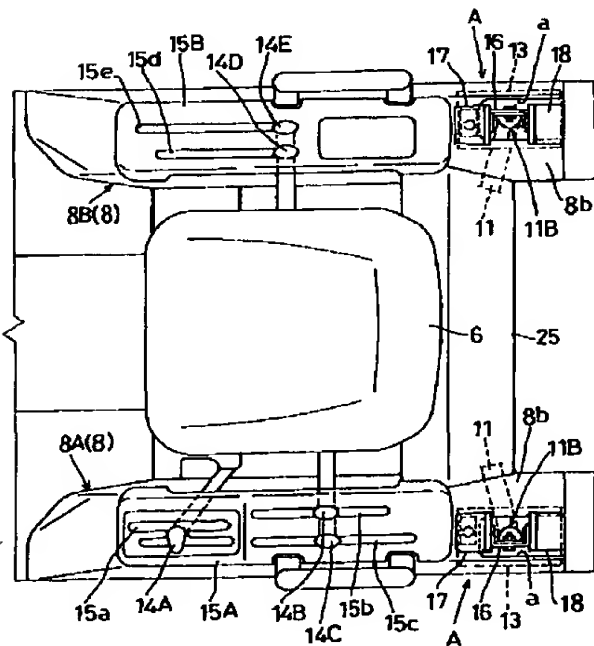
【図2】



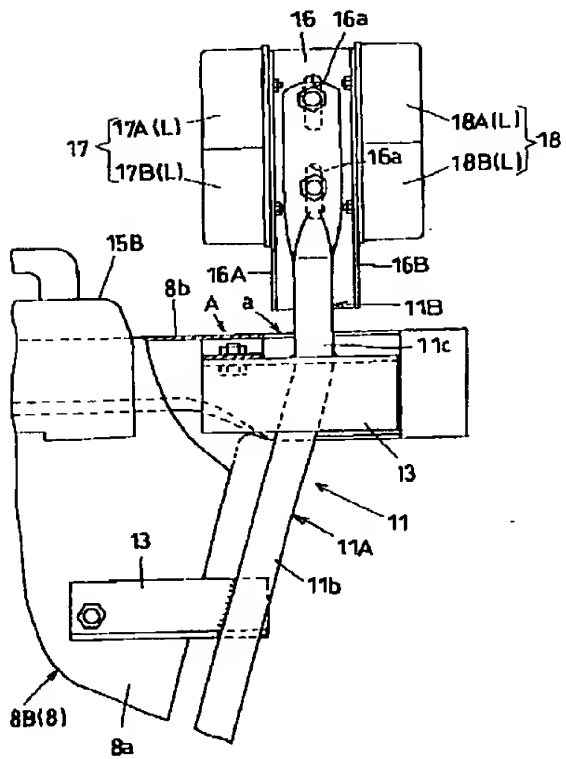
【図3】



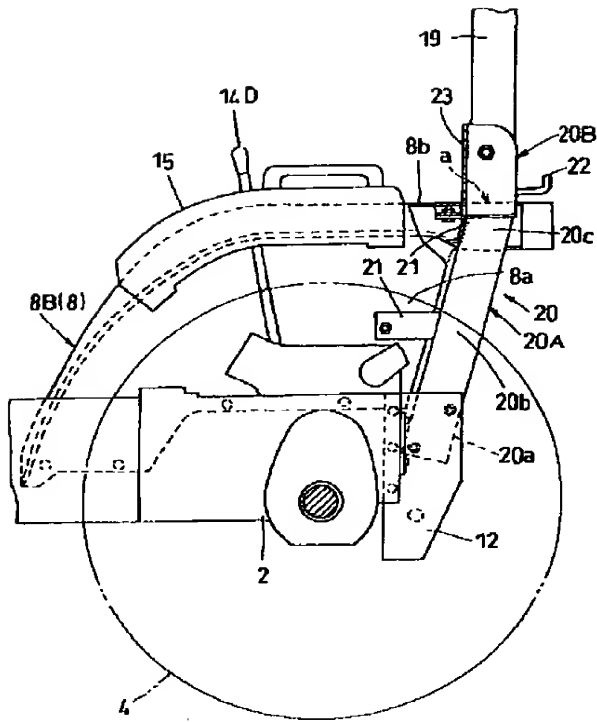
【図4】



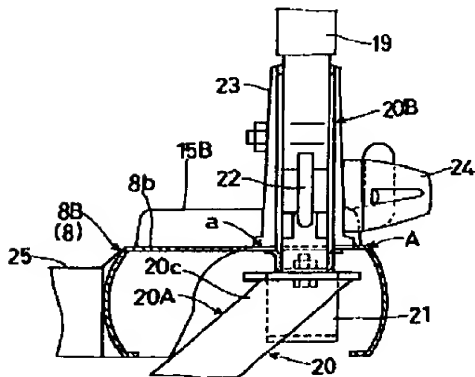
【図5】



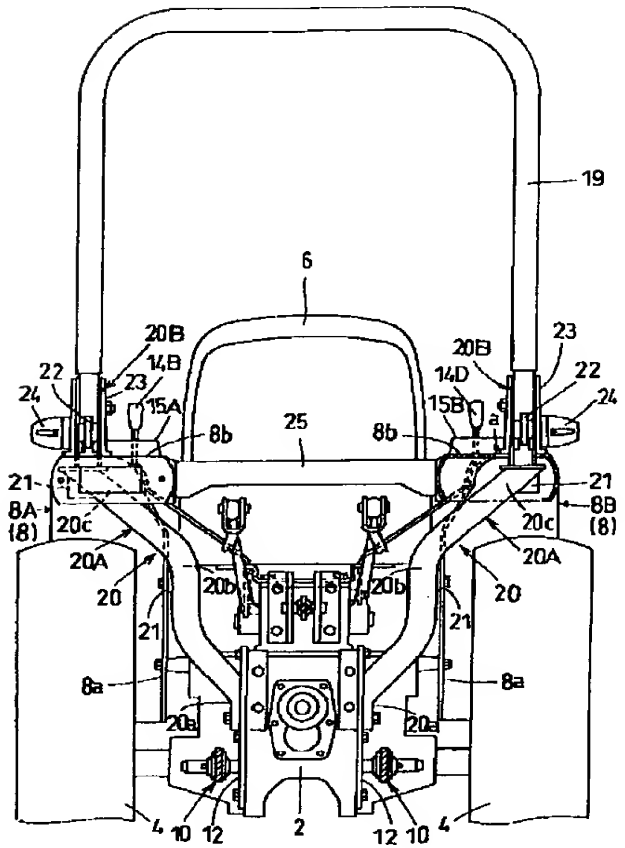
【図8】



【図11】



【図9】



【図12】

